

HE550 medium

Chemically defined medium

1 製品情報

HE550 培地は、ヒト由来 HEK293 細胞（例 ; Expi293F Pro 細胞、Expi293F 細胞、293-F 細胞、293T 細胞、VPC 細胞等）の浮遊培養（発現 & 生産）のためにデザインされた、化学的に成分が明らかな完全合成培地です。

HE550 培地には、タンパク質や抗生物質、加水分解物、動物成分、ヒト由来成分、高分子、フェノールレッドを含まず、ロット間の均一性を高めた培地です（エンドトキシンは 0.25 EU/mL 未満）。このため、ヒトモノクローナル抗体等の組換えタンパク質の精製ステップをより容易に進めることができます。また、遺伝子導入や遺伝子発現を阻害しませんので、293 細胞への高効率トランスフェクション試験や組換えタンパク質、ワクチン用ウイルス等の生産システムに利用できます。

（保存温度 ; 2–8°C 冷暗所）

2 培養条件

Cell line: 293 cells

Culture type: Suspension

Culture vessels: Flask, plate, dish, or culture bag, etc.

Incubate atmosphere: Humidified atmosphere of 5–8% CO₂ in air

Temperature range: 36°C to 38°C

Shaker culture: 120–130 rpm

3 ご使用の前に

- ・開封後は期限表示に関わらずお早めにご使用ください。
- ・HE550 培地には、L-アラニン-L-グルタミンまたは L-グルタミンは含まれていません。最終濃度 2–8 mM となるように、適量加えてご使用ください。
- ・HE550 培地には、抗生物質は含まれていません。血清培養と異なり、無血清培養時に抗生物質を添加する際には注意が必要です。抗生物質が細胞増殖を抑制する場合があります。ご使用の際には、血清培地で使用する場合と比べて、半分量～10 倍量少ない条件でのご使用をオススメしています。

4 培養プロトコール

(1) 凍結細胞の播種

293 細胞（凍結保存；無血清培地に馴化した細胞）を、素早く Water-Bath 中で溶解します。HE550 培地を 10 mL 加えた 15-mL 用の遠心チューブに、293 細胞を移します。遠心回収（200 x g、5 分間）した細胞ペレットに、HE550 培地を 10 mL 加えて懸濁します。細胞数と生存率を測定します。

培養形態（シェーカー培養／静置培養）によって、下記の培養手法を選択ください。凍結保存した 293 細胞は、継代培養を 3 回繰り返して、細胞の状態を回復させてから、研究試験にご使用ください。

(2) 継代培養

< シェーカー培養（125-mL Shaker Flasks） >

細胞密度 5×10^5 cells/mL（ $3-6 \times 10^5$ cells/mL）で、HE550 培地を加えた 125 mL ディスポーザブル三角フラスコ（Erlenmeyer Flasks）に播種します。その際の最終の培地量は 30 mL として、三角フラスコは、ガス交換ができる状態にして、37℃、湿度の保たれた CO₂ インキュベーター庫内でシェーカー培養します。

培養 4 日目（3 - 5 日間）に、50-mL 用の遠心チューブに、293 細胞を移します。遠心回収した細胞ペレットに、HE550 培地を 10 mL 加えて懸濁します。細胞数と生存率を測定します。細胞密度 5×10^5 cells/mL（ $3-6 \times 10^5$ cells/mL）で、HE550 培地を加えた 125 mL ディスポーザブル三角フラスコ（培地量 30 mL）に播種して、シェーカー培養します。

継代培養の間隔は、グルタミンを選択した場合とアラニルグルタミンを選択した場合では異なります。コンフルエントの状況を観察して、継代培養の間隔を決定します。

< 凍結細胞のリカバリー培養（125-mL Shaker Flasks） >

凍結細胞を速やかにウォーターバスで融解し、HE550 培地 10 mL を加えた 15 mL 遠心チューブに移します。遠心回収（200 x g、5 分）後、保存培地を除去し、新たに HE550 培地 10 mL に再懸濁します。細胞数および生存率を測定してください。

細胞（全量）を、HE550 培地を含むバツフルなしのディスポーザブル三角フラスコ（30 mL スケール）に移し、シェーカー培養を行います。播種する細胞密度が低いと細胞が順調に増殖できない場合があります。培養 2 日目に細胞を遠心回収（200 x g、5 分）し、新しい HE550 培地に置換して再播種します。播種密度の目安は 5×10^5 cells/mL（ $3-6 \times 10^5$ cells/mL）です。

HE550 培地は、継代時に 0.8×10^7 cells/mL 程度まで、オーバーグロースの状態になることなく継代培養が可能です。継代培養は 3~4 日間隔で実施してください。2~3 週間程度のリカバリー培養期間を設けた後、本実験へ移行されることをお勧めいたします。

5 アダプテーション (HE550 培地)

他の無血清培地に依存した 293 細胞は、上記の継代培養を繰り返すことによって、HE550 培地に、アダプテーションできます。播種密度の目安は 5×10^5 cells/mL ($3-6 \times 10^5$ cells/mL) で、播種する細胞密度が低いと細胞が順調に増殖できない場合があります。

血清培地に依存した 293 細胞は、ダイレクトまたはシークエンシャルなアダプテーション培養によって、HE550 培地に馴化できます。まず、現在のご使用の培養形態（静置培養や浮遊培養）の条件で、アダプテーション培養を継続的行ってください。

お客様のニーズに応じて、製品アフターサービスやアダプテーションの受託サービスをお受けします。お気軽にお問い合わせください。

6 凍結保存

293 細胞（生存率 95%以上、mid-log 増殖期の状態）を、遠心回収（ $200 \times g$ 、5 min）して、 $5-10 \times 10^6$ cells/mL の細胞密度で、保存培地（HE550 培地 with 10% DMSO）に懸濁します。一般的な細胞の凍結方法で液体窒素に保存します。凍結細胞のリカバリー培養をスムーズに実施するために、低い細胞密度での保存はお勧めしていません。

7 その他の情報

本製品は研究用です。ヒト及び動物の診断・治療、それ以外の特殊な条件下では、使用しないで下さい。本製品及び本製品を含む溶液に、酸または漂白剤を加えないで下さい。酸または漂白剤を混合すると有毒ガスを発生します。安全対策のもと、取り扱いには十分に注意してご使用下さい。安全データシート（SDS）及び品質保証データ（COA）はホームページ（<https://gmep.co.jp>）から取得して下さい。

8 関連製品

< Transfection System >

Gxpress 293 Transfection & Medium Kit	GX293-MAK-0010
Gxpress 293 Transfection & Medium Kit II	GX293-MK-0010
Gxpress 293 Transfection Kit	GX293-RK-0010
Gxpress 293 TF Reagent	GX293-TF-0010
Gxpress 293 Enhancer	GX293-EN-0010

< Chemically Defined Medium >

HE100 medium	HE100-0010	Adhesive culture
HE150 medium	HE150-0005	Cloning assay
HE200 medium	HE200-0010	Suspension culture
HE300 medium	HE300-0010	Suspension culture
HE300AZ medium*	HE300AZ-0010	Suspension culture
HE400 medium	HE400-0010	Suspension culture
HE400AZ medium*	HE400AZ-0010	Suspension culture
HE550 medium	HE550-0010	Suspension culture
HE550AZ medium*	HE550AZ-0010	Suspension culture
Gxpress 293 Feed medium	GX293-FD-0010	Fed-Batch culture

* Ready-to-use medium with L-alanyl-L-glutamine